



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月15日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

- P.3 2020年3月期 連結決算概要
- P.12 2020年3月期 通期連結業績予想と実績の差異
- P.15 2020年3月期 トピックス(国内既存事業)
- P.24 2020年3月期 トピックス(国内新規・海外事業)
- P.28 2021年3月期 通期連結業績予想概要
- P.33 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 連結決算概要

2020年3月期 実績（2019年5月15日付 対予想比）

- 売上高： 対予想比 1.0%未達
- 営業利益： 同 54.6%未達
- 経常利益： 同 54.5%未達
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 53.7%超過達成

※ 2020年3月31日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しており、その予想数値と実績との大きな差異はございません。（詳細はP.13をご参照ください）

(百万円)	2020年3月期 (連結)		2020年3月期 (連結)		対予想比 (5/15付)	
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	9,143	100.0%	9,055	100.0%	△ 88	-1.0%
介護事業	6,436	70.4%	6,556	72.4%	120	1.9%
エンゼルケア事業	2,076	22.7%	2,055	22.7%	△ 21	-1.0%
フォーライフ事業 *	630	6.9%	444	4.9%	△ 186	-29.6%
営業利益	270	3.0%	122	1.4%	△ 147	-54.6%
経常利益	274	3.0%	124	1.4%	△ 149	-54.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	157	1.7%	242	2.7%	84	53.7%

* 2019年12月事業譲渡しております

2020年3月期 決算サマリ（対前期比）

- 売上高： 対前期比 1.7%増収
- 営業利益： 同 45.6%減益
- 経常利益： 同 46.0%減益
- 親会社株主に帰属する当期純利益： 同 155.4%増益

(百万円)	2019年3月期 (連結)		2020年3月期 (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,906	100.0%	9,055	100.0%	149	1.7%
売上総利益	1,175	13.2%	1,091	12.1%	△ 83	-7.1%
販売費及び一般管理費	950	10.7%	969	10.7%	18	2.0%
営業利益	225	2.5%	122	1.4%	△ 102	-45.6%
経常利益	230	2.6%	124	1.4%	△ 106	-46.0%
特別利益	0	0.0%	199	2.2%	199	-
特別損失	59	0.7%	0	0.0%	△ 59	-100.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	94	1.1%	242	2.7%	147	155.4%

2020年3月期 事業別業績概要

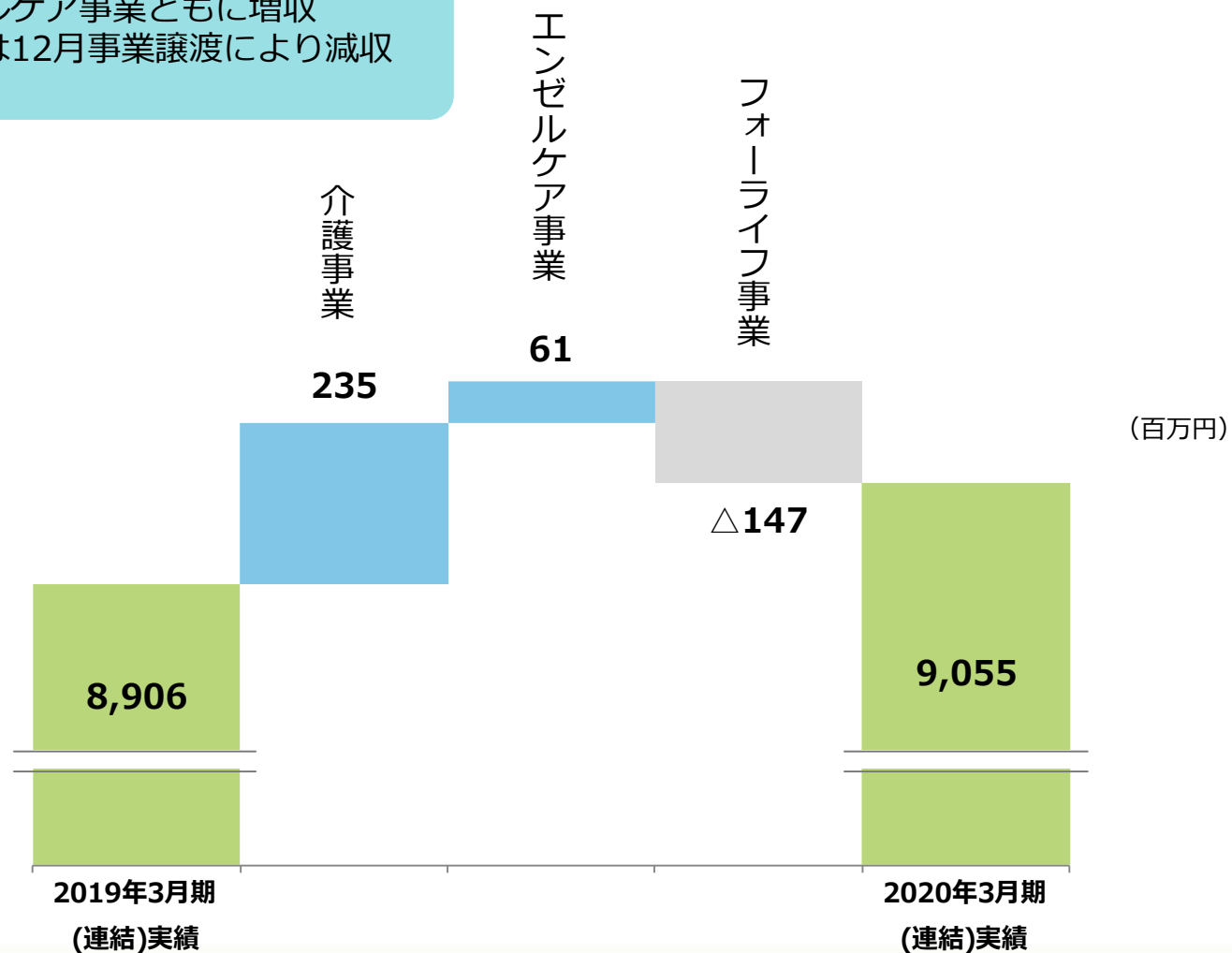
- 介護事業： 対前期比 3.7%増収 14.1%減益
- エンゼルケア事業： 同 3.1%増収 14.0%減益
- フォーライフ事業： 同 24.9%減収 31百万円増益

(百万円)	2019年3月期 (連結)		2020年3月期 (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	8,906	100.0%	9,055	100.0%	149	1.7%
介護事業	6,321	71.0%	6,556	72.4%	235	3.7%
エンゼルケア事業	1,994	22.4%	2,055	22.7%	61	3.1%
フォーライフ事業 *	591	6.6%	444	4.9%	△ 147	-24.9%
セグメント利益	1,111	12.5%	984	10.9%	△ 126	-11.4%
介護事業	686	10.9%	589	9.0%	△ 96	-14.1%
エンゼルケア事業	438	22.0%	377	18.4%	△ 61	-14.0%
フォーライフ事業 *	△ 13	-2.4%	17	3.9%	31	-
調整額	△ 885	-9.9%	△ 861	-9.5%	23	-
営業利益	225	2.5%	122	1.4%	△ 102	-45.6%

* 2019年12月事業譲渡しております

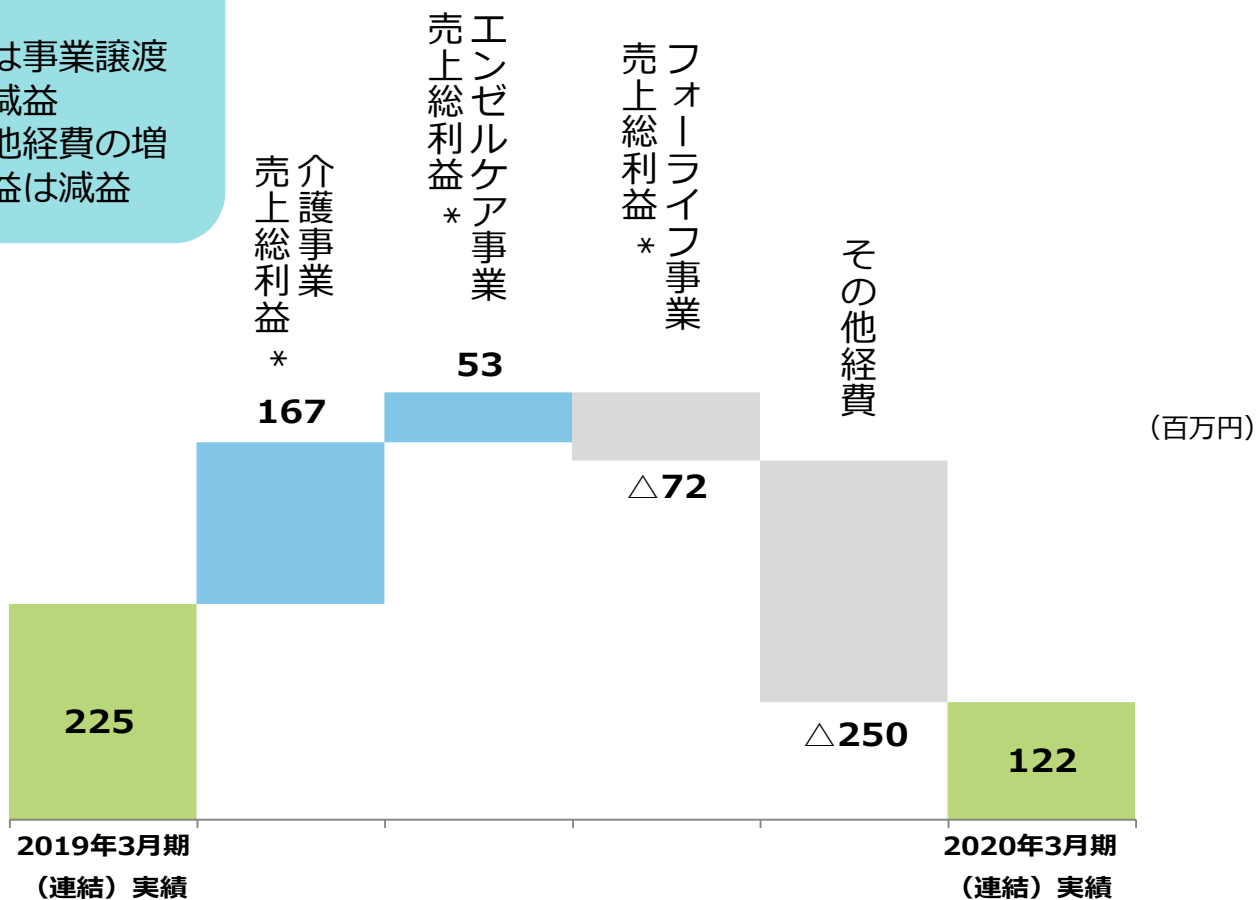
2020年3月期 売上高の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業ともに増収
フォーライフ事業は12月事業譲渡により減収



2020年3月期 営業利益の増減分析

介護事業、エンゼルケア事業
 はともに増収により売上総利益は増益
 フォーライフ事業は事業譲渡
 による減収により減益
 人件費を含むその他経費の増加により、営業利益は減益



*注意：人件費を除いた売上総利益額です

2020年3月期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	2019年3月期末 (連結)		2020年3月期末 (連結)		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,206	71.0%	2,359	73.4%	152
現金・預金	768	24.7%	957	29.8%	188
売掛金	1,337	43.0%	1,313	40.9%	△ 24
固定資産	901	29.0%	853	26.6%	△ 47
有形固定資産	248	8.0%	248	7.7%	0
無形固定資産	185	6.0%	224	7.0%	39
投資その他の資産	467	15.0%	379	11.8%	△ 87
資産合計	3,108	100.0%	3,213	100.0%	105
流動負債	1,148	37.0%	1,079	33.6%	△ 69
買掛金	146	4.7%	145	4.5%	△ 1
1年以内返済予定の 長期借入金	182	5.9%	207	6.5%	25
未払金	115	3.7%	33	1.0%	△ 82
固定負債	479	15.4%	437	13.6%	△ 42
長期借入金	232	7.5%	187	5.8%	△ 45
負債合計	1,628	52.4%	1,516	47.2%	△ 111
株主資本	1,487	47.9%	1,704	53.0%	216
資本金	205	6.6%	205	6.4%	0
資本剰余金	138	4.4%	138	4.3%	0
利益剰余金	1,292	41.6%	1,509	47.0%	216
自己株式	△ 148	-4.8%	△ 148	-4.6%	0
その他の包括利益累計額	△ 7	-0.2%	△ 7	-0.2%	0
純資産合計	1,480	47.6%	1,696	52.8%	216
負債・純資産合計	3,108	100.0%	3,213	100.0%	105

【ご参考】自己資本比率の推移

- 2019年3月期末 47.6%
- 2020年3月期末 52.8%

2020年3月期 キャッシュ・フロー計算書サマリ

(百万円)	2019年3月期 (連結) 実績	2020年3月期 (連結) 実績	対前期比 増減額
税金等調整前当期純利益	171	324	153
減価償却費	121	107	△ 14
債権放棄損	27	0	△ 27
事業譲渡益	0	△ 199	△ 199
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	12	△ 24
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	0	△ 4	△ 4
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 42	48	91
未払金の増減額 (△は減少)	8	△ 83	△ 92
未払費用の増減額 (△は減少)	23	△ 7	△ 30
その他の負債の増減額 (△は減少)	△ 7	△ 14	△ 7
法人税等の支払額	△ 116	△ 122	△ 5
その他	78	66	△ 12
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	301	126	△ 175
有形固定資産の取得による支出	△ 56	△ 16	39
無形固定資産の取得による支出	△ 62	△ 21	40
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	0	△ 23	△ 23
事業譲渡による収入	0	200	200
その他	△ 12	27	40
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 130	165	296
長期借入れによる収入	200	200	0
長期借入金の返済による支出	△ 271	△ 248	23
リース債務の返済による支出	△ 40	△ 29	10
配当金の支払額	△ 25	△ 25	0
その他	△ 1	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 139	△ 104	34
現金及び現金同等物の増減額	32	188	155
現金及び現金同等物の期末残高	768	957	188

事業別事業所数・人員数の推移（国内）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	2019年3月期				2020年3月期				対前期末比 増減数
	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	
介護事業	3	1	3	76	5	0	0	81	5
デイサービス（通所介護サービス）	1	0	3	46	0	0	0	46	0
訪問入浴サービス	1	1	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	1	0	0	16	5	0	0	21	5
エンゼルケア事業	1	0	0	24	1	0	0	25	1
フォーライフ事業	0	0	0	4	0	0	4	0	△ 4

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	2019年3月期	2020年3月期	対前期末比 増減数
介護事業	985	1,038	53
エンゼルケア事業	235	270	35
フォーライフ事業	71	0	△ 71
合計	1,291	1,308	17

※数値にはパート従業員を含む

< 2020年3月期 新規出店・増店 >

新規出店

- エンゼルケア浦和事業所【2019年4月】

増店

- ひだまり深川（訪問介護）【2019年7月】
- ひだまり深川（居宅介護支援）【2019年7月】
- ひだまり臨海（居宅介護支援）【2019年7月】
- 訪問看護クリア（訪問看護）【2020年2月】
- 訪問看護クリア立花（訪問看護）【2020年2月】

※2019年7月に株式会社ひだまりを子会社化、
2020年2月に株式会社クリアパークの訪問看護事業を
事業譲受いたしました（P.17をご参照ください）



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 通期連結業績予想と実績の差異

【2019年11月5日付 業績予想の修正概要】

- 介護事業、エンゼルケア事業
 - ・ 2019年秋の台風をはじめとする荒天による影響
- フォーライフ事業
 - ・ 12月1日の事業譲渡により、以降含んでいた業績見込みを除外
 - ・ 譲渡益と円滑な事業引継ぎにかかる費用を合わせ、199百万円の特別利益を計上
- その他
 - ・ 株式会社ひだまりの業績、取得時ののれん償却費、その他M & A関連費用

【2020年3月31日付 業績予想の修正概要】

- 介護事業
 - ・ デイサービス事業を中心にインフルエンザの流行が低水準で推移し、10～2月の期間は計画比を上回ったものの、新型コロナウイルスの流行に伴い3月は計画比でマイナス
- エンゼルケア事業
 - ・ 記録的な暖冬により、繁忙期である12～2月が全国的に葬儀件数の大幅な減少、また新型コロナウイルス流行による葬儀の自粛に伴い、当社の施行件数が下期計画比で減少
- その他
 - ・ 株式会社クリアバークのM & A関連費用、事業所閉鎖費用、消費税の追加納付

2020年3月31日付 業績予想との差異

(百万円)	2019年3月期 通期実績 (連結)	2020年3月期 通期修正予想 (3/31付)		2020年3月期 通期実績 (連結)	対予想比 (3/31付)	
		通期予想	前期比		増減額	増減率
売上高	8,906	9,057	+1.7%	9,055	△ 1	△ 0.0%
介護事業	6,321	6,556	+3.7%	6,556	△ 0	△ 0.0%
エンゼルケア事業	1,994	2,056	+3.1%	2,055	△ 0	△ 0.0%
フォーライフ事業 *	591	444	-24.9%	444	0	0.0%
営業利益	225	115	-48.6%	122	6	6.0%
経常利益	230	119	-48.3%	124	5	4.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	94	236	+149.5%	242	5	2.4%

※2019年5月15日付 通期業績予想との差異はP.4をご参照ください

* 2019年12月事業譲渡しております



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 トピックス (国内既存事業)

ドミナント戦略の推進①（事業所の新規出店）

- 2019年4月「エンゼルケア浦和」開設
業務拡大により、埼玉県浦和市にエンゼルケア事業所を開設

出店効果 ※下記のAとBの比較

【前年同期比】

- ✓ 売上高：115.2%
- ✓ 施行件数：115.2%
- ✓ 営業利益：110.3%

A（拠点分割前）
2019年3月期上半期
①エンゼルケア埼玉（分割母店）
②エンゼルケア東京（浦和近隣カバー）
①+②合計

B（拠点分割後）
2020年3月期上半期
①エンゼルケア埼玉
②エンゼルケア東京
③エンゼルケア浦和（新規出店）
①+②+③合計

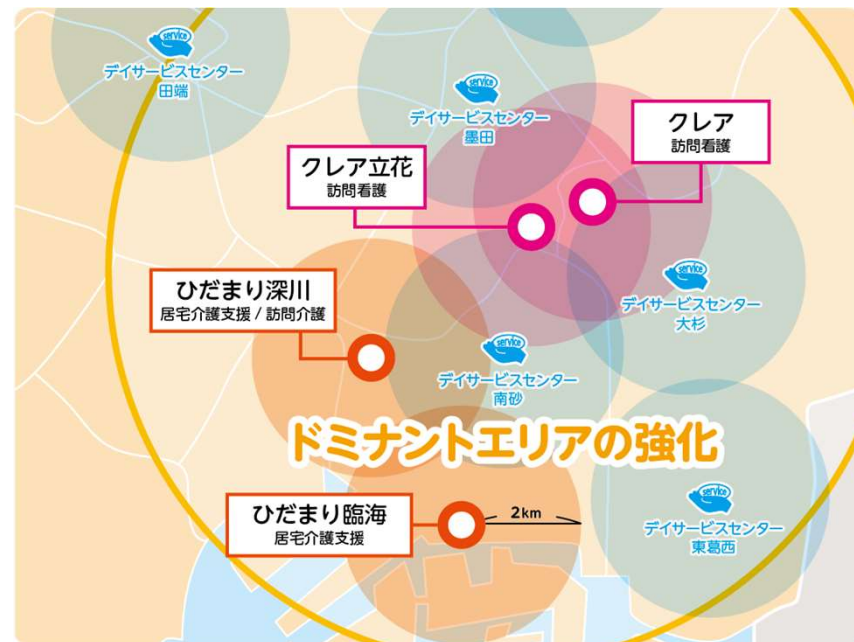


ドミナント戦略の推進②（サービス拠点の拡大）

- 2019年7月 株式会社ひだまりを株式取得（完全子会社化）※
 - 2020年2月 株式会社クリアバーグの訪問看護事業の譲受
- ※2020年10月に吸収合併を予定

➤ 期待、発揮される相乗効果

- ・ 東京都23区内にて居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問看護事業を増強
- ・ 近隣の当社デイサービスセンターとの相互補完
- ・ 居宅介護支援事業者との関係構築の深耕と利用者の拡大

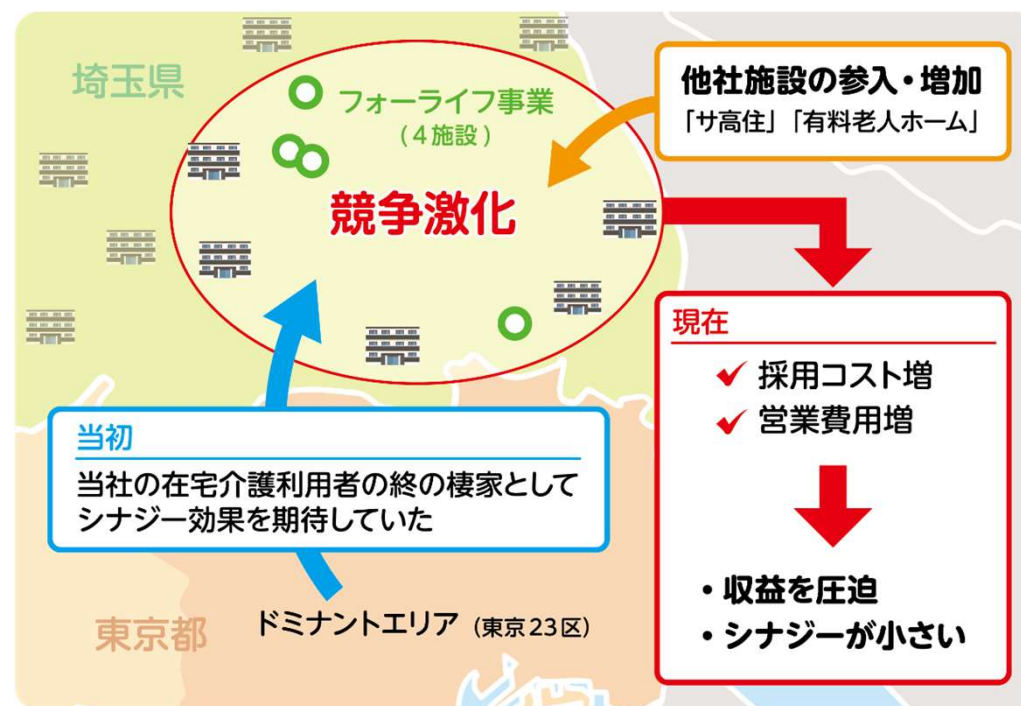


居宅介護支援と訪問系事業を既存エリアに取り込み、
多様な在宅介護サービスの提供をさらに拡充

事業の選択と集中（事業の譲渡）

■ 2019年12月 サービス付き高齢者向け住宅(フォーライフ)事業の譲渡

- 埼玉県内で施設介護事業において安定した事業基盤を誇る株式会社関東サンガへ譲渡



中核となる在宅介護への選択と集中
東京23区を中心にドミナント戦略を加速させる

主要サービスの概況

■ デイサービス

- ・ 2019年3月末 1 事業所の廃止、9月・10月の荒天、及び3月の新型コロナウイルスの影響により、前年同期比で減収

※特に新型コロナウイルスの影響は、3月の売上は、前年同期比で5.3%減少となっております。

■ 訪問入浴サービス

- ・ 新規顧客の獲得により、利用件数が前年比で106%
- ・ 採用及びサービス品質向上の取り組みを積極化
- ・ 2018年6月に譲受を行った対象事業所の成長が今期も継続

■ エンゼルケアサービス

- ・ 繁忙期に向けた人材投資を積極化
- ・ 新規出店による施行件数増により前年比で増収はしたものの、今冬の記録的暖冬・新型コロナウイルスの影響などによる葬儀件数減少に伴い湯灌等の施行件数が減少し、計画比で売上未達。

**サービス品質の維持向上のため
人材への先行投資を積極的に実施**

デイサービス・小規模多機能型居宅介護事業の付加価値向上

- 11月1日より当社デイサービスセンター、小規模多機能型居宅介護事業所のお客様向けに「夕食お持ち帰り弁当」サービスを開始
 - ・ 自社管理栄養士のもと、直営の調理施設「配食池上センター」による多様な食事形態のお弁当を夕食として提供
 - ・ 当初の想定より利用のニーズが多く顧客満足度向上に大きく貢献



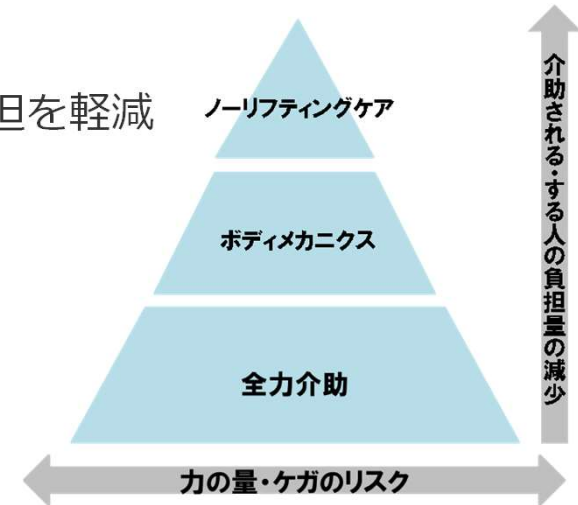
提供事業所数	9事業所
料金	1折 ¥ 780 (税込)
食事形態	通常食のほか、嚥下障害に対応した食形態3種

既存サービスを拡充し、
顧客満足度の向上による利用回数増を図る

新しい技術の習得による安心・安全の追求

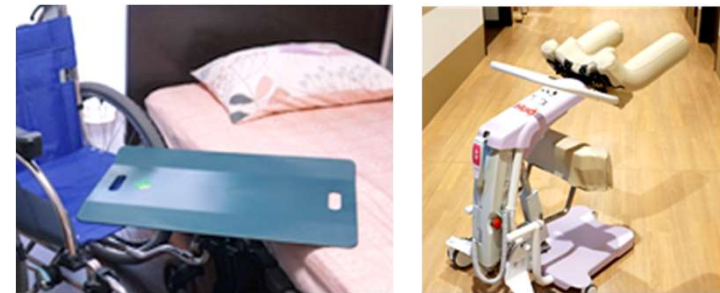
■ ノーリフティングケアの導入

- ・ 「抱え上げない介護」で、お客様とスタッフの身体的負担を軽減
 - お客様：緊張や力みによる身体への負担を軽減
 - スタッフ：腰痛予防、腰痛による離職抑止
- ・ 全スタッフに対し、技術習得のための研修体制を構築し、運用を開始



■ 福祉用具の入れ替えと新規導入

- ・ 新しい介助技術の導入にあわせ、デイサービス46事業所の介護ベッドと車いすの機能見直しを図り、全ての事業所にて入れ替えを完了
- ・ お客様の身体への負担状況をヒアリングし、移乗や移動時の負担が軽減できる福祉用具を適宜導入



サービス品質と従業員の定着率を向上させる

ITシステム、先進技術への設備投資

■ 基幹システムの充実

- ・新しい介護系記録請求システムを導入
 - 債権管理、会計システムとの相互連携を強化し業務効率化
 - 顧客データ分析（BIGデータ技術）によるマーケティングへの活用を視野

■ 時代に相応しい介護の追求・挑戦

- ・最新の福祉用具、及びIOT、AIなど先進テクノロジーの試験導入
 - 介助ロボットの試験導入やサービス提供時の事務負担の軽減、業務効率化につながるシステムの検討

人事面での取り組み

■ 2019年10月に創設された「介護職員等特定処遇改善加算」取得

➤ 本件に関する当社の特定処遇改善加算

- ・ 当社は、介護福祉士、介護職員をはじめ、事業所に所属する介護職員以外にも「経験年数」と「役割」に応じ、手当として分配
- ・ 事業所に所属する全ての職員に分配することで、介護を担う人材の職業的地位向上の一助とする

※介護職員等特定処遇改善加算の詳しい内容等につきましては、厚生労働省資料「2019年度介護報酬改定について」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000478355.pdf>
など、ご参照ください

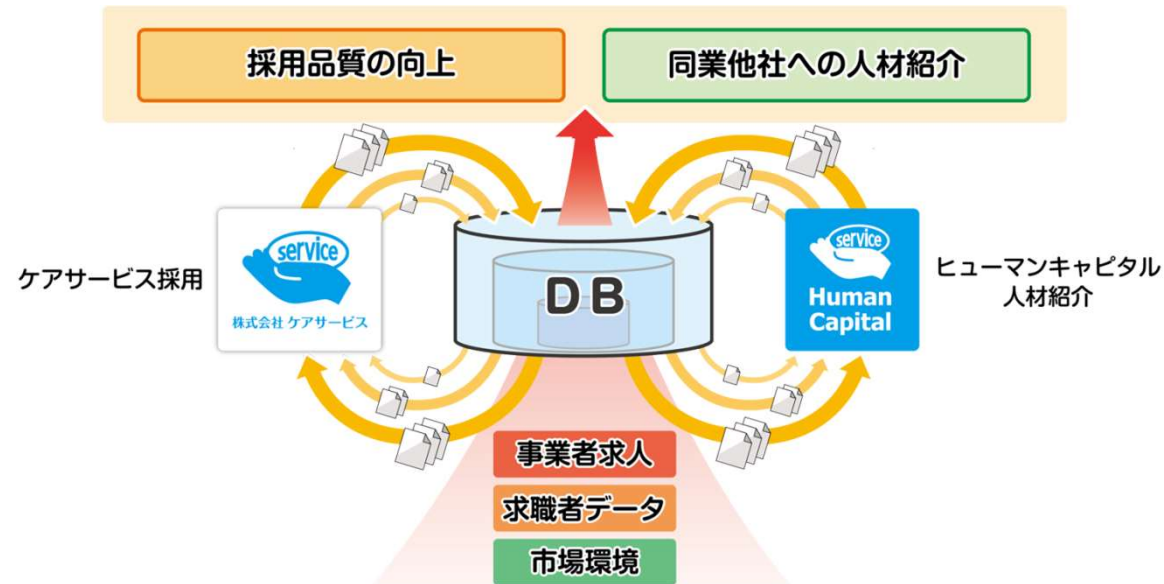
**従業員の定着と雇用促進に積極的に取り組み
安定したサービス品質の維持向上を図る**



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2020年3月期 トピックス (国内新規・海外事業)

介護人材の人材紹介事業の拡大



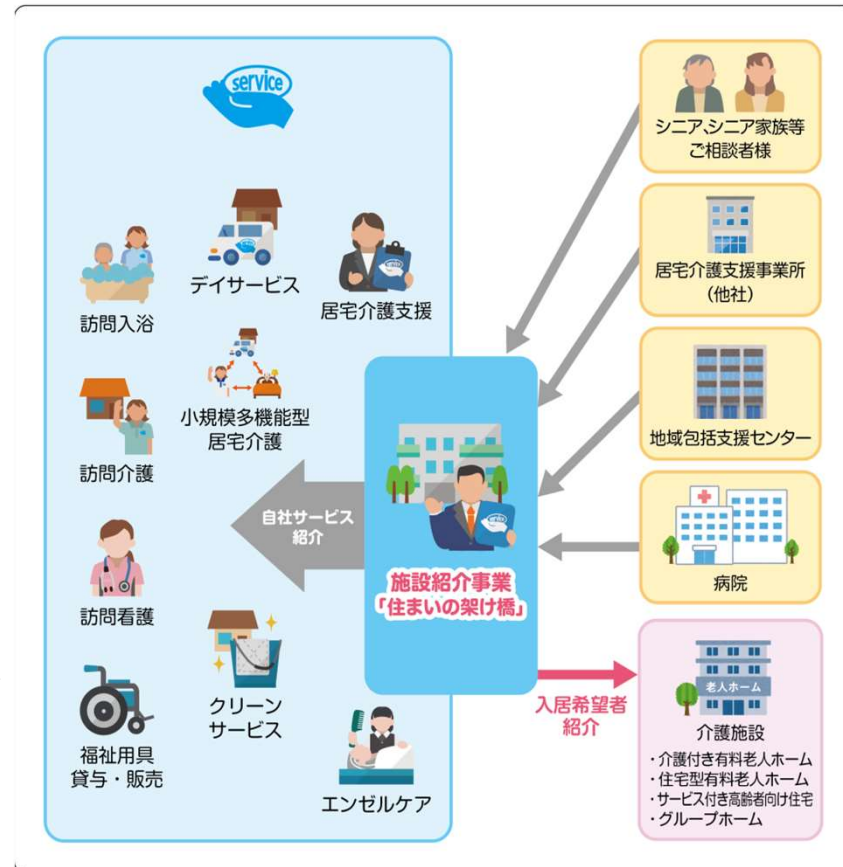
- ・蓄積した採用データを人材紹介事業へ活用し、求職者と介護事業者と高い精度でマッチング
- ・登録者数は前年同期比で209%と堅調に拡大基調
- ・2020年3月期第2四半期以降は、登録者増に対応すべく社内体制の再構築を行い今後の成長加速に拍車をかける

既存介護事業を基盤とした周辺領域での新サービスの現況

- **シニア向け施設紹介サービス（※）**
 - ・「住まいの架け橋」サイトをオープン
⇒介護施設紹介の専門サイト開設
 - ・ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカーとの連携強化
⇒毎月20～30件程度の相談件数

（※）在宅ケアプランに沿った最適な施設を紹介
- **仕事と介護の両立支援コンサルティング（介護離職抑止のソリューション）**
 - ・企業が抱える介護離職の課題解決の代行
 - ・企業内の従業員に介護サービス、介護施設を紹介
⇒ビジネスパートナーにアプローチを行い、数社が導入を検討中
- **衛生分野のサービス拡充**
 - ・ウイルス除去商材の充実、施設などの空間ウイルス除去サービスを拡充

施設紹介事業「住まいの架け橋」サービス利用者イメージ



中国事業 2020年3月期 概要

■ 第1四半期～第3四半期までの概要

➤ 介護サービス

・訪問入浴

- － 9月に上海テレビ放送（上海広播電視台）のニュース番組で訪問入浴サービスの取材映像が放映、紹介
- － シードステージだが、訪問入浴サービス認知の広がりを実感

➤ エンゼルケアサービス

- ・湯灌 ー 2つの葬儀場で新メニュー導入及び料金体系の見直しが奏功し、第3四半期までの施行件数は、前年同期比215%

■ 第4四半期の概要

新型コロナウイルスの影響により

➤ 介護サービス

- ・行政からの指示によりサービスの受注を停止

➤ エンゼルケアサービス

- ・一部の葬儀場で業務を施行しており、売上はあるものの、施行件数が減少している



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2021年3月期 通期連結業績予想概要

サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）事業譲渡に伴い、セグメントの変更を行う

■ 現セグメント

セグメント区分	所属サービス	子会社
介護事業	デイサービス、訪問入浴、訪問介護、 配食サービス、訪問看護、居宅介護支援、 福祉用具貸与・販売、小規模多機能型居宅介護	ひだまり、ヒューマンキャピタル、 上海福原一介護
エンゼルケア事業	エンゼルケア、クリーンサービス、 シニア向け施設紹介	上海福原一エンゼルケア
サービス付き 高齢者向け住宅事業	サービス付き高齢者向け住宅サービス (フォーライフ)	

■ 新セグメント ※2020.4.1変更

セグメント区分	所属サービス	子会社
在宅介護サービス 事業	デイサービス、訪問入浴、訪問介護、 配食サービス、訪問看護、居宅介護支援、 福祉用具貸与・販売、小規模多機能型居宅介護	ひだまり
シニア向け 総合サービス事業	エンゼルケア、クリーンサービス、 シニア向け施設紹介	ヒューマンキャピタル、上海福原

2021年3月期連結業績予想・新中期経営計画 公表延期について

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な状況や、政府による緊急事態宣言の発出の状況において現時点では業績に影響を与える不確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難な状況にあります。

このような状況下において2021年3月期の業績予想、また新中期経営計画を公表することは、株主・投資家の皆様を混乱させてしまう可能性があるかと判断し、現時点では非公表とさせていただきます。

業績予想、新中期経営計画の公表につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響を踏まえ、必要な検討を行い適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、速やかに公表するものとしたします。 ※4月以降の影響の詳細はP.31をご参照ください

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様にはご迷惑とご心配をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

在宅介護サービス事業

- デイサービスでは、お客様のご家族がご利用を一時的に控えたことにより、4月の売上は前年同月比で14.8%減少
- 訪問系サービスに関しては多少、既存のお客様のご利用を控える動きも見えるが、継続的な新規獲得ができており、売上面では影響無し

シニア向け総合サービス事業

- エンゼルケアでは、地域によって葬儀件数等に若干の減少はあるものの、売上への影響は軽微
- クリーンサービスでは、4月の売上が前年同月比で減少したものの、施行日の振り替えにて対応予定
- 人材紹介事業では、登録者数は伸びているが、外出自粛により、選考プロセスの遅れが発生
- 上海福原のエンゼルケアは、一部斎場の完全再開はできていないものの、葬儀社及びご葬家からの依頼により、湯灌サービスの受注を継続
- 上海福原の介護サービスは、新型コロナウイルス終息後の行政の政策を確認し、計画を再策定

■ 資金の借入について

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化に備えて、グループ経営の安定化を図るべく手元資金を厚くすることを目的に、以下の借入を実施しました。

借入先	借入金額合計	資金使途	借入期間
計3銀行	8億円	運転資金	半年～1年

■ 当期、次期の配当金について

- ▶ 2020年3月期の配当金につきましては、2020年3月期の連結経営成績を踏まえ、当初の予定どおり1株当たり7円と変更ございません。
- ▶ 2021年3月期の配当金につきましては、現時点で業績予想の算定が困難なことから、未定とさせていただきます。業績予想の発表後、速やかに公表いたします。

当社は、株主に対する長期的かつ総合的な利益の拡大を重要な経営目標と位置づけており株主配当につきましては、中長期的な事業計画に基づき、設備投資及び再投資のための内部資金の確保と安定的な配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後予想される市場環境の変化に対応すべく経営基盤の一層の強化と事業展開に備えるために、役立ててまいりたいと考えております。



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

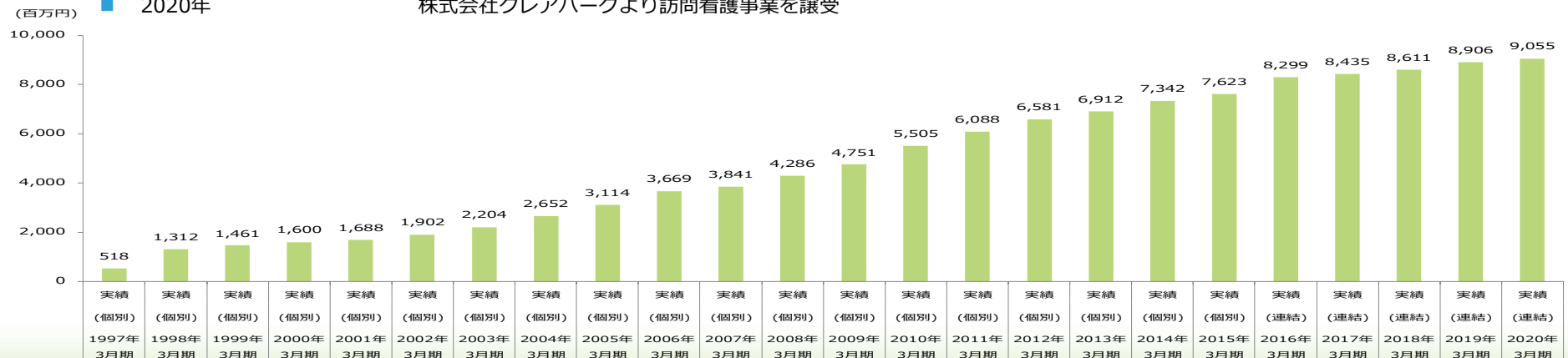
参考資料

ケアサービスの事業領域



当社の売上高推移と主な沿革

- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 1983年 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設
- 1990年 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動
- 1991年 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）を開設
- 2015年 中国上海市に完全子会社の『上海福原護理服務有限公司』を設立
- 2016年 訪問看護を開始し、医療と介護の連携を強化
上海にてエンゼルケア事業を開始
- 2017年 人材事業子会社『株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル』を設立
小規模多機能型居宅介護サービスを開始
- 2018年 人材事業子会社にて介護業界向け人材紹介事業を開始
- 2019年 シニア向け施設紹介事業を開始
株式会社ひだまりの全株式を取得し、連結子会社化
フォーライフ事業の譲渡
- 2020年 株式会社クリアバグより訪問看護事業を譲受



介護サービス別売上高とご利用件数の推移

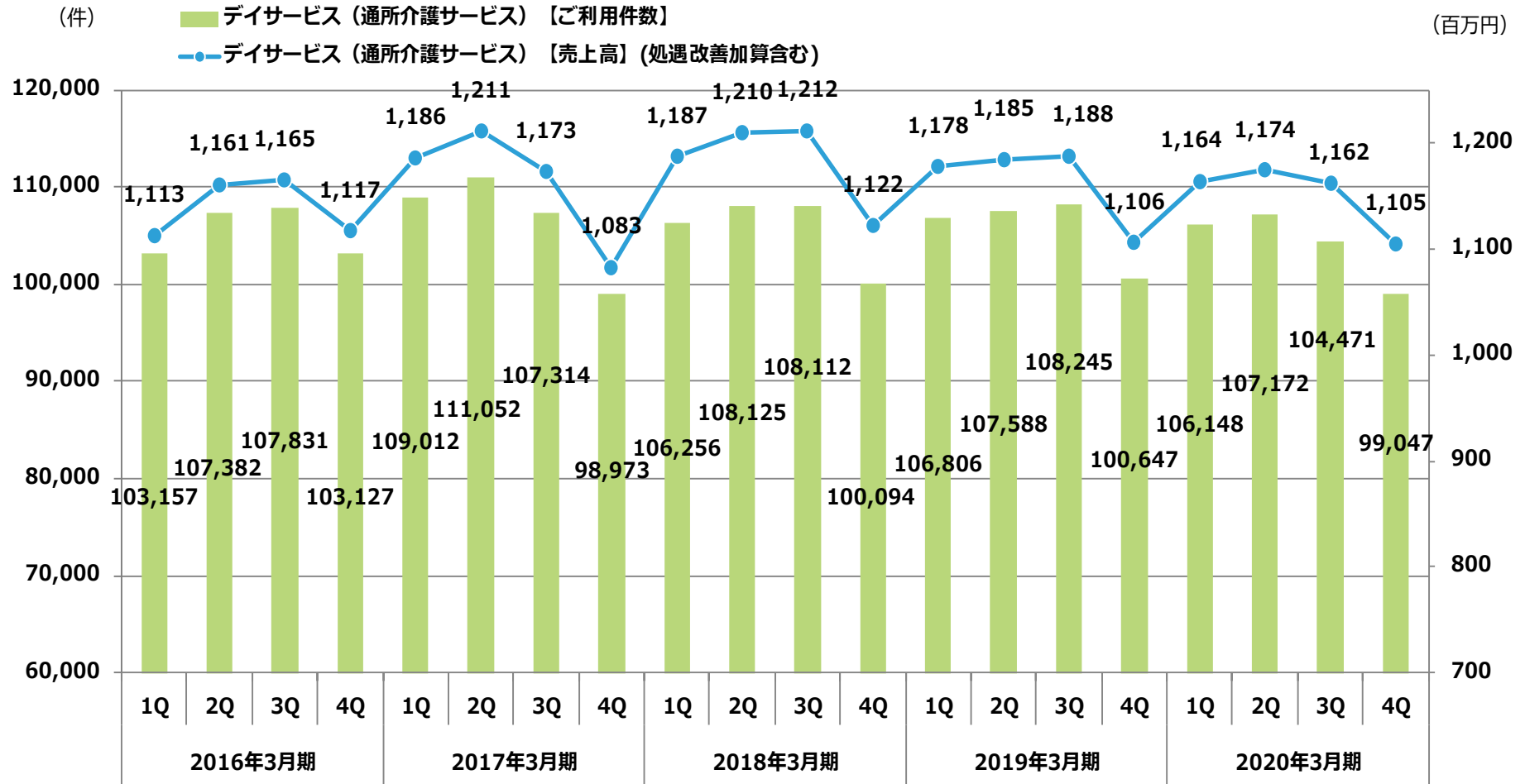
- デイサービスは事業所統廃合もあり売上高・ご利用件数ともに横ばい
- 訪問入浴サービスは前期の事業譲受以降も順調に新規顧客を獲得し、売上高・ご利用件数ともに増加

	2018年3月期 (連結) 実績			2019年3月期 (連結) 実績			2020年3月期 (連結) 実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高【百万円】									
介護事業	3,106	3,042	6,149	3,178	3,142	6,321	3,292	3,263	6,556
デイサービス (通所介護サービス)	2,398	2,337	4,736	2,363	2,295	4,659	2,339	2,276	4,615
訪問入浴サービス	471	440	912	502	518	1,020	571	565	1,136
その他	235	264	500	312	328	640	381	421	803
ご利用件数									
介護事業	273,097	263,357	536,454	273,663	270,362	544,025	278,943	270,276	549,219
デイサービス (通所介護サービス)	214,381	208,206	422,587	214,394	208,892	423,286	213,320	203,518	416,838
訪問入浴サービス	31,321	29,228	60,549	33,371	34,393	67,764	38,196	37,034	75,230
その他	27,395	25,923	53,318	25,898	27,077	52,975	27,427	29,724	57,151

デイサービス（通所介護サービス）：売上高とご利用件数の推移（四半期）



介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき弊社で判断した内容であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの想定とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部

TEL 03-5753-1170

E-mail ir@care.co.jp